

日本女大家政 南沢 明子

○竹中はる子

1. 合繊が天然纖維に比べて蒸れるといわれているので、合繊が水分に対してどのような反応を示すかを検討し、又合繊、木綿纖維の表面をレプリカ法を改善して電顕写真をとることが出来た。そしてこれ等の結果から合繊の蒸れの要因はたしかめられた。そこで木綿と合繊の橋わたしをするものとして、レーヨン糸について実験を行い更にリネン、絹、羊毛等についても微細な立場で水分の影響をしらべた。なお衣類保存の見地から湿度との関係についても検討した。

2. レーヨン、リネン、絹、羊毛等の単纖維を乾燥状態と見かけ上、R.H. 100% 槽中に放置した試料について示差熱天秤を用い含まれている湿度の定量的な影響を求め、又電顕写真もさつえいした。なお衣類保存の立場から桐材及び 2, 3 の材料の収納容器についての湿度の影響および  $\text{SO}_2$  ガスの透過について実験を行った。

3. 1) 木綿よりレーヨン糸は吸湿量が極めて多く、又デニールが細い方が太いものより多い。2) 乾燥の場合は木綿の場合常圧では絶乾状態は得にくい、レーヨン糸は木綿より吸湿量が少い。3) リネン、絹、羊毛等夫々吸湿量に差があり、特に絹では DTA に特性曲線が認められた。4) 桐材は 100% R. H. 中で水分を吸収しているが、乾燥の場合、常湿の場合にもなお水分を吸収している。又  $\text{SO}_2$  の透過の状況についても報告する予定である。